

書名	日本古代の氏族と系譜伝承			著者名	鈴木正信／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-04636-7	本体価格	¥12,000	発売	2017/4/14
内容	古代氏族の系譜や伝承は、単なる家系の記録ではない。それは彼らの祖先がいつの時代、どのような職掌で王権に奉仕したのかを伝えたもので、氏族の政治的地位の正統性を主張するきわめて現実的な役割を担っていた。『円珍俗姓系図』や『海部氏系図』などの分析を通して、地方支配・祭祀・外交に活躍した古代氏族の実態と諸相を解明する注目の一冊。						

書名	乙女の奈良 雑貨屋&カフェ案内 すてきなお店めぐり			著者名	あんぐる／著		
出版社	メイツ出版	ISBN	978-4-7804-1889-7	本体価格	¥1,630	発売	2017/5/20
内容	奈良市および周辺エリア内のカフェ・雑貨屋・スイーツ・パン屋・花屋などを紹介。						

書名	筑紫万葉恋ひごころ			著者名	上野誠／著		
出版社	西日本新聞社	ISBN	978-4-8167-0936-4	本体価格	¥1,400	発売	2017/5/1
内容	大伴旅人や山上憶良らが九州・大宰府で詠んだ歌を大胆に意識。8世紀を生きた人々の本音を現代文学として読みなおす“上野ワールド”たっぷりのエッセイ。						

書名	Dear deer 鹿たちの楽園			著者名	佐藤和斗／著		
出版社	青菁社	ISBN	978-4-88350-189-2	本体価格	¥1,500	発売	2017/5/1
内容	自然写真家。1984年奈良市生まれ。写真家中野晴生氏に師事、2008年に独立。メディア出演や雑誌への掲載の他、写真の楽しさを伝えるために初心者向けの写真教室を開講するなど幅広い分野で活動している。KAZUTO PHOTO OFFICE代表(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)						

書名	聖徳太子 ほんとうの姿を求めて			著者名	東野治之／著		
出版社	岩波書店	ISBN	978-4-00-500850-6	本体価格	¥880	発売	2017/4/20
内容	誰もが知っているのに、謎だらけの存在、聖徳太子。偉人か、ただの皇子か、「聖徳太子」か「厩戸王」か…、彼をめぐる議論は絶えません。いったいなぜそんな議論になるのでしょうか。問題の根っこを知るには、歴史資料に触れてみるのが一番。仏像、繡帳、お経、遺跡などをめぐり、ほんとうの太子を探す旅に出かけましょう。						

書名	古代研究VI 国文学篇2			著者名	折口 信夫／著		
出版社	KADOKAWA(角川学芸出版)	ISBN	978-4-04-400203-9	本体価格	¥1,240	発売	2017/5/25
内容	従来の日本文学における〈時間〉〈作品〉〈作家〉の概念を根底から解体し、民俗学的国文学研究として、特異な分野を拓いた折口信夫。その国文学の〈発生とその展開〉に関する、和歌史を主題とした具体論にして各論。「女房文学から隠者文学へ」「万葉びとの生活」「古代民謡の研究」など、古代と近代との対立と融合をめざした、折口万葉論の集大成ともいえる13篇を収録。貴重な全巻「総索引」付き。						

書名	律令国家への階梯—古代史の定説を疑う—			著者名	宮川 克己／著		
出版社	文芸社	ISBN	978-4-286-18165-3	本体価格	¥1,800	発売	2017/5/1
内容	華やかな邪馬台国論争に隠れて見落としがちな日本の国家形成への道筋を、『古事記』『日本書紀』以外の資料からも丹念に読み解いていく。大和朝廷ははたして倭国なのか？ 律令国家形成の実態は——！？ とかく王権論に終始してしまいがちな古代史論にあって「浮浪者」の存在や九州王朝、朝鮮半島の紛争などにも目を向け、多角的な視野から論じる歴史書。						

書名	奈良妖怪新聞 総編集(巻)			著者名	木下 昌美／著		
出版社	大和政経通信社	ISBN	978-4-909233-00-4	本体価格	¥926	発売	2017/5/1
内容	奈良に伝わる怪しい話、お化けの話について妖怪文化研究家の木下昌美さんが月に一度、紹介します。これまで注目される機会が少なかった「奈良のお化け」—。河童や天狗、べとべとさんや砂かけババなど、思いの外たくさんのお化け譚(たん)が奈良には眠っているようです。						